

平成 27 年 1 月 15 日
国立情報学研究所
学術コンテンツ課

平成 26 年度 SPARC Japan 事業の中間報告

(1) SPARC Japan セミナー

- ・企画WGを組織し、3回実施した。年度内に第4回を実施する。

【資料 2-2-1】 【資料 2-2-2】

- ・企画終了後、ニュースレターを発行した。第22号(2014年9月)、第23号(2014年10月)、第24号(2014年11月)

(2) 海外動向調査

- ・COAR(Confederation of Open Access Repository) 2014 Annual meeting
(5月21-23日 Athens, Greece) に三角太郎氏を代理として出席を依頼した。
- ・OR2014 (The 9th Annual International Conference on Open Repositories)
(6月9-13日 Helsinki, Finland) に NII 職員1名を派遣した。

(3) 国際的なイニシアティブへの参加支援

- ・2014年から開始した SCOAP³への日本の大学図書館からの拠出金を、NII がとりまとめて支払った。また、安達委員長が2014年12月17日に開催された Governing Council の第3回ミーティングに出席した。【資料 2-3】
- ・2013年から会員制プログラムになった arXiv.org について、会員機関と事務局との連絡調整を行い、コンソーシアム参加に移行した。【資料 2-4】
- ・ORCID Outreach Meeting を11月4日にNIIで開催するとともに、NII 武田教授が5月、11月に理事会に出席し、著者識別子の普及活動にあたった。【資料 2-5】

(4) オープンアクセス支援のパイロットプロジェクトの検討調査

- ・平成25年度に実施した我が国における APC(Article Processing Charge)に関する調査を SPARC Japan セミナーで報告した。

(5) 平成 25 年度 SPARC Japan 年報の発行

- ・平成25年度の活動状況をまとめ、平成26年7月に発行した。

(6) ウェブサイトの整備

- ・運営委員会資料・議事録の公開を予定している。